

◎硫酸Mg 補正液 1mEq/mL [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】硫酸マグネシウム水和物 (U) Magnesium Sulfate Hydrate 【分類】補正用電解質液

【単位】◎20mL/A [Mg 20mEq/20mL]

【常用量】体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して用いる

●TdPによる心停止：1~2gを10mLの5%ブドウ糖液で希釈し5~20分かけて

●脈のあるTdP：1~2gを50~100mLに希釈して5~60分で静注し、0.5~1g/時で維持する。

【用法】必ず希釈して点滴静注

【透析患者への投与方法】透析患者ではMgの排泄障害があるため慎重投与 (1) 血中Mg濃度をみながら投与する (5)

【保存期CKD患者への投与方法】腎不全患者ではMgの排泄障害があるため慎重投与 (1) 血中Mg濃度をみながら投与する (5)

【特徴】輸液に希釈して血清Mg濃度の補正に用いる。

【排泄】腎；血漿濃度とGFRは相関する (U) 注射によるMgは腎から排泄される。

【蛋白結合率】35%

【有効治療域】4~7mEq/L (抗痙攣剤として) (U) 血中Mg濃度が4mEq/L以下では臨床症状はみられないが、5~10mEq/Lで心臓収縮に影響が生じ、頻脈より徐脈に移行し、心電図に変化が認められ、血圧低下、神経機能異常がみられる。10mEq/L以上になると筋力減退、深部腱反射消失をきたし、15mEq/L以上では昏睡、呼吸麻痺を生じ全身麻痺に移行する。25mEq/L以上では心停止を起こすといわれている (1)

【効果発現時間】投与直後 [iv] (U)

【効果持続時間】約30min [iv] (U)

【備考】リン酸イオンと沈殿を生じることがあるので、リン酸を含有する製剤と配合する場合は注意を要する。

【更新日】20230724

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。